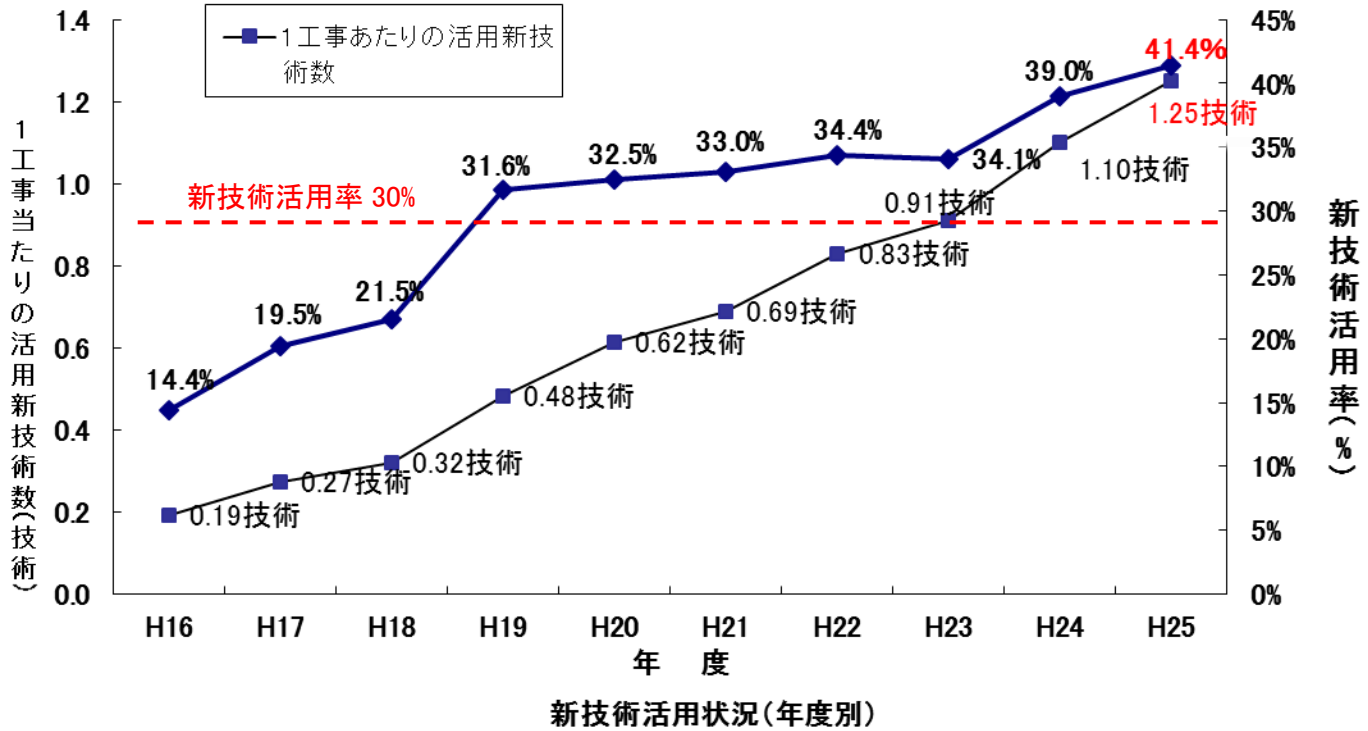


## 1. 新技術活用状況の推移

- 新技術活用率(新技術を活用した工事件数を総工事件数で除したものは、平成25年度では41.4%となり、平成16年度以降の統計で最大となりました。
- 活用新技術数は平成20年度以降の統計で最大となりました。
- 活用延べ新技術数は平成21年度から4年連続で1万件を突破しました。1工事あたりの活用新技術数は1.25技術となり、平成16年度より継続して増加しています。



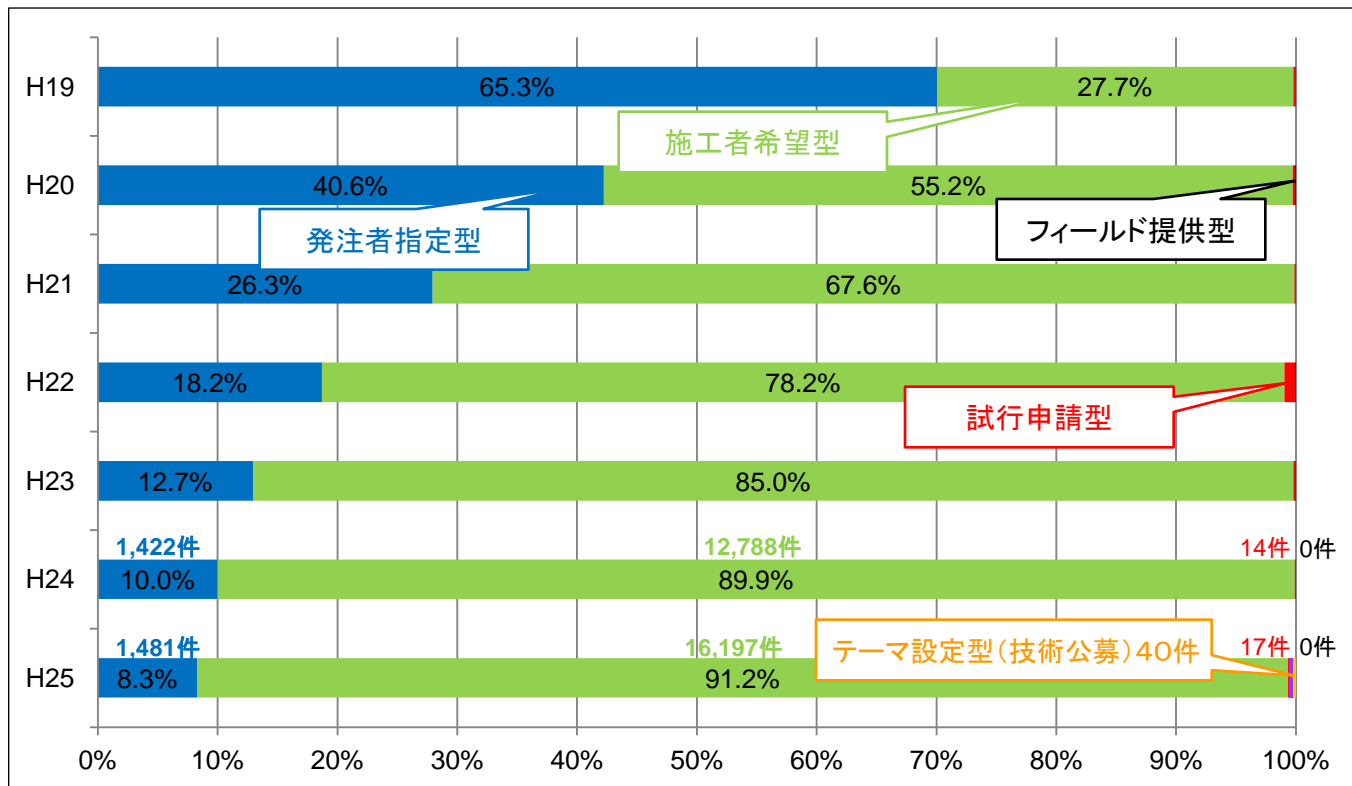
新技術活用状況	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
①総工事件数	14,764	13,748	12,648	13,453	14,435	15,051	12,227	13,444	12,910	14,194
②新技術活用工事件数※1	2,120	2,677	2,720	4,255	4,687	4,972	4,202	4,584	5,035	5,875
③活用延べ新技術数※2	2,827	3,763	4,063	6,501	8,879	10,381	10,124	12,226	14,224	17,761
<b>②/① 新技術活用率</b>	<b>14.4%</b>	<b>19.5%</b>	<b>21.5%</b>	<b>31.6%</b>	<b>32.5%</b>	<b>33.0%</b>	<b>34.4%</b>	<b>34.1%</b>	<b>39.0%</b>	<b>41.4%</b>
1工事あたりの活用新技術数 (③/①)	0.19	0.27	0.32	0.48	0.62	0.69	0.83	0.91	1.10	1.25
④活用新技術数(同一技術の重複を含まない)	-	-	-	-	1,268	1,406	1,376	1,428	1,517	1,645

※1 新技術活用工事件数とは、新技術を1件以上活用した工事の件数

※2 平成25年度においては、このほか試行的に実施した「テーマ設定型(技術公募)」において述べ40技術の活用がある

## 2. 施工者による新技術に関する提案の増加

- 新技術の活用には大きく分けて4つの型※3があります。  
各年度の活用延べ新技術数を活用型別にみると、以下の通りです。  
「施工者希望型」(入札契約の総合評価方式における技術提案、又は契約締結後における施工者からの技術提案に基づき、施工者が新技術を活用する)の割合が、平成19年度以降増加しています。「施工者希望型」の4つの型に占める割合は平成25年度では91.2%となり平成24年度の89.9%に比べ1.3%増加しました。
- 平成25年度においては、上記の4類型の他、インフラの点検・診断に資する技術の掘り起しを図るため、「テーマ設定型(技術公募)」※4による活用を試行的に実施し、40技術の現場試行を行いました。



- 上記のように「施工者希望型」の割合が増加した要因としては、国土交通省がこれまでに行ってきた、施工者による新技術の活用を促進するための下記の取り組みの効果と考えられる。
- ① 入札契約の総合評価方式において、施工者が新技術に関する技術提案を行った場合に加点。  
(平成17年10月以降各地方整備局で順次運用を開始)
  - ② 施工者からの提案により、直轄工事で新技術を活用した場合に、工事成績評定で加点。  
(平成18年9月より運用を開始)

※3 「公共工事等における新技術活用システム」の新技術の活用の型には、以下の4つがある。

- **施工者希望型**: 入札契約の総合評価方式における技術提案又は契約締結後における施工者からの技術提案申請に基づき、施工者が新技術を活用する型。
- **発注者指定型**: 直轄工事における現場ニーズ、行政ニーズにより必要となる新技術を発注者の指定により活用する型。
- **試行申請型**: 事後評価未実施技術を対象に、NETIS申請者の試行申請に基づき試行を行う型。
- **フィールド提供型**: 現場ニーズ等により、各地方整備局等により、各地方整備局等がNETIS申請者から新技術提案募集を行い、フィールドを提供し、活用する型。

※4 平成25年度において、以下の「テーマ設定型」を試行的に実施し、平成26年度より本格的に運用。

- **テーマ設定型(技術公募)**: 現場ニーズに基づき設定した技術テーマに対し、応募のあった技術を現場で活用、評価することで、新技術の現場導入及び評価の加速化に取り組む型。

### 3.1 活用件数の多い新技術(全ての活用型を含む)

●平成25年度の活用延べ新技術数17,761件のうち、活用件数上位20位の新技術は以下のとおりです。平成25年度に最も活用件数が多かったのは、ユニット型の仮設昇降階段である「ラク2タラップ」でした。その他に活用件数が多かった新技術は、コンクリート工に関する新技術や仮設工に関する新技術などです。また、ランキングに占める技術のうち、60%の技術が震災NETISに登録されています。

活用件数の多い新技術(平成25年度)

順位	NETIS登録番号	技術名	副題	工種	有用な技術	震災NETIS*5	建設技術審査証明の取得
1	KT-010099-V	ラク2タラップ ※6	ステップ一枚の傾斜角度を合わせるだけで、タラップ全体のステップが一同に、合わせる新昇降機材	仮設工	推奨技術 設計比較対象技術	○	
2	TH-070005-V	カプセルリズム型高輝度路上工事用標示板(工事看板)	路上工事用標示板向けカプセルリズム型高輝度再帰反射シート	仮設工		○	
3	KT-070054-V	ジョイントテックス CT-400	洗い出し不要の打ち継ぎ処理剤	コンクリート工	設計比較対象技術	○	
4	KT-060150-V	3次元設計データを用いた計測及び誘導システム	計測及び誘導システム	調査試験	推奨技術 設計比較対象技術	○	○
5	KT-090046-V	法面2号ユニバーサルユニット自在階段	ユニット型昇降設備	仮設工	推奨技術 設計比較対象技術	○	
6	CB-100037-V	軽トラック積載対応型屋外可搬式トイレユニット	車載トイレ	仮設工			
7	KT-060068-V	リンクプレート	建設現場用敷鉄板堅結安全止金具	仮設工	設計比較対象技術	○	
8	KT-090071-V	オイルフェンス一体型発電機	長時間運転する場合、別置燃料タンクなしで運転し電力を供給できるエンジン発電機です。	電気通信設備			
9	KK-980055-V	キャスポル	簡易支持力測定器	調査試験	活用促進技術	○	
10	KT-060093-V	「Orpheus」オルフェウス	工事トータルソリューション&企業総合力強化システム「Orpheus」オルフェウス	その他	設計比較対象技術		
11	CB-080028-V	とまるくん(普通車用)・(大型車用)	道路工事現場での車両進入によるもらい事故防止。	道路維持修繕工			
12	KK-100021-V	ソーラー式LED表示機	ソーラー充電式バッテリーによるLED文字・映像表示装置	その他	設計比較対象技術	○	
13	CG-060005-V	アクアマットSタイプ	コンクリート傾斜面および水平面用の湿潤養生マット	コンクリート工			
14	SK-040007-V	ピカコン	気泡抜き取り具及びフレッシュコンクリート表面仕上げ方法	コンクリート工			
14	TH-090017-V	ニューネオソーラー II	ニッケル水素電池を使用した太陽電池式・同期システム機能付き道路工事用保安灯	付属施設		○	
16	SK-080003-V	コンクリートひび割れ低減用ネット「ハイパーネット60」	耐アルカリ性ガラス繊維ネットを用いたコンクリート構造物のひび割れ低減技術	コンクリート工		○	
17	HK-100017-V	間伐材を利用した木製掲示板(製造時と植林システムによるCO2削減)	製造時のCO2排出量の少ない木製品や間伐材使用製品の利用と植林システムによるCO2削減、循環型社会の構築	仮設工			
18	CB-100052-A	土木施工支援システム(LANDRIV&LanDeco)	3次元設計データを利用し、①TS(トータルステーション)とデータコレクタ(LANDRIV&LanDeco)。又は、②LANDRIVを搭載したTS(トータルステーション)。の一方を用いて高効率・高品質を実現する施工管理システム(出来形管理・丁張設置・路線設置・測量)。	土工		○	
18	CG-110011-V	後方監視カメラ搭載油圧ショベル	運転席右前方のモニタ画面で後方の安全確認ができ、ヘッドガード一体型キャブを搭載した油圧ショベル	土工			
20	SK-080001-V	塗布型高性能収縮低減剤「クラックセイバー」	コンクリート表層部収縮低減、水分逸散抑制によるコンクリート構造物のひび割れ抑制技術	コンクリート工		○	

※5 震災NETISとは  
新技術活用システム(NETIS)に登録された技術を対象として、震災復旧・復興に資する技術をNETIS申請者より募り、広く情報提供することで、震災復旧・復興の現場における活用を支援するサイトです。

※6 平成26年度 推奨技術・準推奨技術

各技術の占める割合(平成25年度)

	有用な技術	震災NETIS	建設技術審査証明の取得
ランキング20に占める割合	40%	60%	5%
全登録技術に占める割合	8%	42%	7%

# 3.2 活用件数の多い新技術(施工者希望型)

●平成25年度に施工者希望型\*4として活用された技術16,192件のうち、活用件数上位20位の新技術は以下のとおりです。施工者希望型で最も活用件数が多かったのは、「ラク2タラップ」で、全体のランキングと同じ結果となりました。活用された技術の内訳として、施工者希望型の占める割合が高いことから、他の順位もおおむね全体のランキングと同様の結果となりました。

施工者希望型における活用件数の多い新技術(平成25年度)

順位	NETIS登録番号	技術名	副題	工種	有用な技術	震災NETIS*5	建設技術審査証明の取得
1	KT-010099-V	ラク2タラップ ※6	ステップ一枚の傾斜角度を合わせるだけで、タラップ全体のステップが一同に、合わさる新昇降機材	仮設工	推奨技術 設計比較対象技術	○	
2	TH-070005-V	カプセルリズム型高輝度路上工事用標示板(工事看板)	路上工事用標示板向けカプセルリズム型高輝度再帰反射シート	仮設工		○	
3	KT-070054-V	ジョイントテックス CT-400	洗い出し不要の打ち継ぎ処理剤	コンクリート工	設計比較対象技術	○	
4	KT-060150-V	3次元設計データを用いた計測及び誘導システム	計測及び誘導システム	調査試験	準推奨技術 設計比較対象技術	○	○
5	KT-090046-V	法面2号ユニバーサルユニット自在階段	ユニット型昇降設備	仮設工	推奨技術 設計比較対象技術	○	
6	CB-100037-V	軽トラ積載対応型屋外可搬式トイレユニット	車載トイレ	仮設工			
7	KT-060068-V	リンクプレート	建設現場用鉄板堅結安全止金具	仮設工	設計比較対象技術	○	
8	KT-090071-V	オイルフェンス一体型発電機	長時間運転する場合、別置燃料タンクなしで運転し電力を供給できるエンジン発電機です。	電気通信設備			
9	KK-980055-V	キャスポル	簡易支持力測定器	調査試験	活用促進技術	○	
10	KT-060093-V	「Orpheus」オルフェウス	工事トータルソリューション&企業総合力強化システム「Orpheus」オルフェウス	その他	設計比較対象技術		
11	CB-080028-V	とまるくん(普通車用)・(大型車用)	道路工事現場での車両進入によるもらい事故防止。	道路維持修繕工			
12	KK-100021-V	ソーラー式LED表示機	ソーラー充電式バッテリーによるLED文字・映像表示装置	その他	設計比較対象技術	○	
13	CG-060005-V	アクアマットSタイプ	コンクリート傾斜面および水平面の湿潤養生マット	コンクリート工			
14	TH-090017-V	ニューネオソーラー II	ニッケル水素電池を使用した太陽電池式・同期システム機能付き道路工事用保安灯	付属施設		○	
15	SK-040007-V	ピカコン	気泡抜き取り具及びフレッシュコンクリート表面仕上げ方法	コンクリート工			
16	SK-080003-V	コンクリートひび割れ低減用ネット「ハイパーネット60」	耐アルカリ性ガラス繊維ネットを用いたコンクリート構造物のひび割れ低減技術	コンクリート工		○	
17	HK-100017-V	間伐材を利用した木製標示板(製造時と植林システムによるCO2削減)	製造時のCO2排出量の少ない木製品や間伐材使用製品の利用と植林システムによるCO2削減、循環型社会の構築	仮設工			
18	CB-100052-A	土木施工支援システム(LANDRiV&LanDeco)	3次元設計データを利用し、①TS(トータルステーション)とデータコレクタ(LANDRiV&LanDeco)。又は、②LANDRiVを搭載したTS(トータルステーション)。の一方を用いて高効率+高品質を実現する施工管理システム(出来形管理・丁張設置・路線設置・測量)。	土工		○	
19	CG-110011-V	後方監視カメラ搭載油圧ショベル	運転席右前方のモニタ画面で後方の安全確認ができ、ハットガード一体型キャブを搭載した油圧ショベル	土工			
20	HR-090009-V	ソーラーLED電光表示板	太陽光発電によるLED電光表示板	付属施設		○	
20	KK-990050-V	ディスプレイライト(CR、ER、DV、DV-S)	コンクリート打継目処理剤	コンクリート工	設計比較対象技術	○	○
20	SK-080001-V	塗布型高性能収縮低減剤「クラックセイバー」	コンクリート表層部収縮低減、水分逸散抑制によるコンクリート構造物のひび割れ抑制技術	コンクリート工		○	

※5 震災NETISとは  
新技術活用システム(NETIS)に登録された技術を対象として、震災復旧・復興に資する技術をNETIS申請者より募り、広く情報提供することで、震災復旧・復興の現場における活用を支援するサイトです。

※6 平成26年度 推奨技術・準推奨技術

各技術の占める割合(平成25年度)

	有用な技術	震災NETIS	建設技術審査証明の取得
ランキング20に占める割合	41%	64%	9%
全登録技術に占める割合	8%	442%	7%

### 3.3 活用件数の多い新技術(発注者指定型)

●平成25年度に発注者指定型\*5として活用された技術1,480件のうち、活用件数上位20位の  
新技術は以下のとおりです。発注者指定型で最も活用件数が多かったのは、浅層・中層混  
合処理工である「パワーブレンダー工法(スラリー噴射方式)」となりました。

発注者指定型における活用件数の多い新技術(平成25年度)

順位	NETIS登録番号	技術名	副題	工種	有用な技術	震災NETIS*5	建設技術審査証明の取得
1	CB-980012-V	パワーブレンダー工法(スラリー噴射方式)	浅層・中層混合処理工	共通工	推奨技術 設計比較対象技術	○	○
1	QS-060012-V	スーパーテールアルメ工法	補強部材の最適配置と壁面部材の大型化を実現した補強土壁工法	共通工		○	
3	SK-060003-V	プレガードII ※6	プレキャストガードレール基礎	附属施設	準推奨技術 設計比較対象技術	○	
4	CG-980018-V	多機能フィルター	被覆材による法面保護と植生	共通工	設計比較対象技術	○	○
5	KK-070008-V	抵抗板付鋼製杭基礎(ボールアンカー100型)	道路標識柱及び道路照明柱用基礎	附属施設	準推奨技術 活用促進技術	○	
6	CB-990022-V	紫外線硬化型ガラス繊維強化プラスチックシートによる照明柱根元防食及び道路構造物腐食部補修	ウルトラパッチによる腐食部補修及び防食処理	道路維持修繕工	活用促進技術	○	
6	CG-010007-V	グリーンパネル工法	全面緑化出来る切土補強土工法	共通工	設計比較対象技術	○	
6	KK-020061-V	アデムウォール	多機能で耐久性に優れたジオテキスタイル補強土壁	共通工	活用促進技術	○	○
6	KT-990459-V	自走式土質改良機	移動型改良工法対応機(SR-P600/SR-P1200/SR-G2000/SR2000G)	土工	設計比較対象技術	○	
10	HR-060004-V	鉄筋腐食抑制工法「プロテクトシル CIT」	RC構造物用鉄筋腐食抑制タイプ含浸系表面保護材	道路維持修繕工	設計比較対象技術	○	
11	HR-990043-V	遠心力吹付け工法	深礎杭工事における吹付けモルタルによる土留め工法	基礎工			
11	HR-990111-V	高強度帯状ジオンセティックパラリンク	軟弱地盤上の盛土対策工 敷網工	共通工	設計比較対象技術	○	
11	KT-980135-V	LDIS(エルディス)工法 ※6	低変位高圧噴射攪拌工法	共通工	準推奨技術 設計比較対象技術	○	
14	CB-050040-V	ガードレール・ガードパイプ自在R連続基礎ブロック	ガードレールカーブ対応型連続基礎	附属施設		○	
14	CB-080011-V	エボガードシステム	錆転換型防食塗装	道路維持修繕工			
14	HR-100013-V	支承の若返り工法	金属溶射を使って既設鋼製支承の防錆力を向上させ、同時に潤滑性防錆剤を注入する工法。	道路維持修繕工			
14	QS-980018-V	CI-CMC工法	大径・高能率の複合攪拌式深層処理工法	共通工	活用促進技術	○	○
14	QS-980058-V	スリップフォーム工法	型枠不要のコンクリート連続打設工法	舗装工	活用促進技術		
14	CB-980023-V	ソイルクリート工法	簡易吹付のり枠工	共通工	設計比較対象技術	○	○
20	CB-020055-V	コンクリート改質剤CS-21	コンクリート構造物の止水・防水・保護材料	コンクリート工	設計比較対象技術	○	
20	CB-980025-V	ダイブラハウエル管による道路下カルバート工の設計・施工方法(高耐圧ポリエチレン管)		共通工	準推奨技術 設計比較対象技術	○	○
20	KT-980624-V	FCB工法	気泡混合軽量土を用いた軽量盛土工法	土工		○	
20	SK-980038-V	ローネット工	ワイヤロープ構造の落石予防工	附属施設		○	

※5 震災NETISとは  
新技術活用システム(NETIS)に登録された技術を対象として、震災復旧・復興に資する技術をNETIS申請者より募り、広く情報提供することで、震災復旧・復興の現場における活用を支援するサイトです。

※6 平成26年度 推奨技術・準推奨技術

各技術の占める割合(平成25年度)

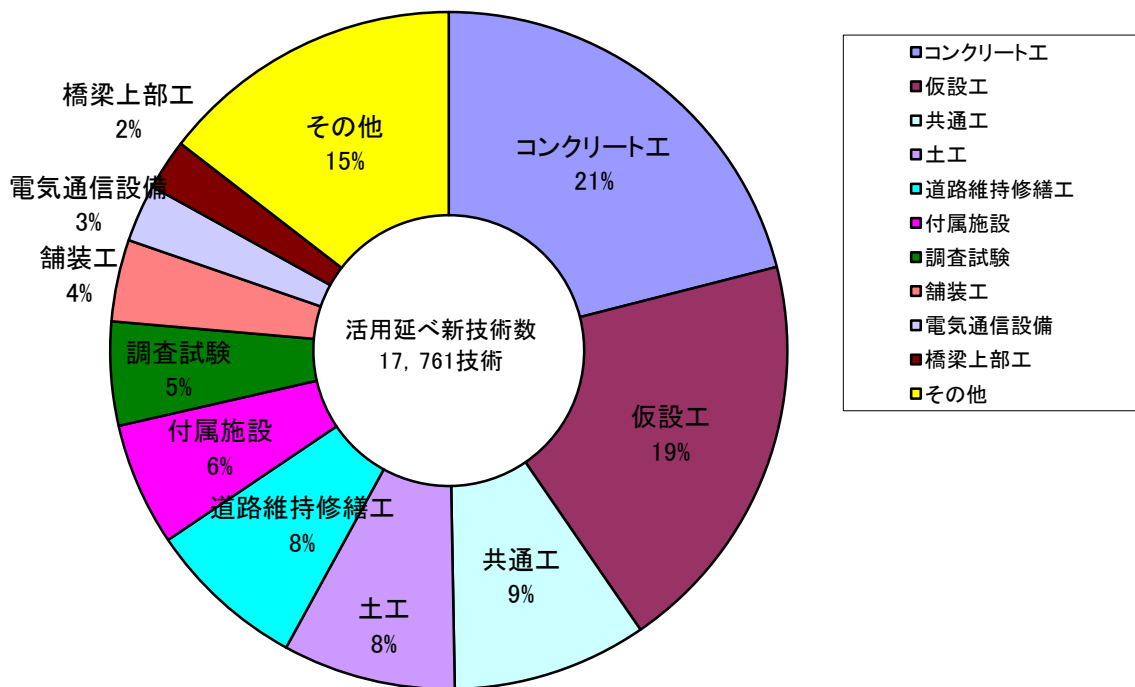
	有用な技術	震災NETIS	建設技術審査証明の取得
ランキング20に占める割合	70%	83%	26%
全登録技術に占める割合	8%	42%	7%

## 4. 活用件数の多い工種

●新技術活用件数の工種別内訳は下記のとおりです。

平成25年度において、活用述べ新技術数17,761件のうち、もっとも多くの新技術が使われた工種は、「コンクリート工」でした。

次いで、「仮設工」、「共通工」、「土工」、「道路維持修繕工」、の順に、多く活用されていました。



活用延べ新技術数の工種別内訳

活用延べ新技術数の工種別内訳

順位	工種ランキング	活用件数 (述べ技術数)
1	コンクリート工	3,734
2	仮設工	3,445
3	共通工	1,651
4	土工	1,467
5	道路維持修繕工	1,346
6	付属施設	1,044
7	調査試験	879
8	舗装工	694
9	電気通信設備	645
10	橋梁上部工	489
	その他	2,367
	合計	17,761